

## 不易流行

校長 五十嵐 圭一



\*笑好さん直筆の色紙

明けましておめでとうございます。昨年は、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対し多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も、教職員一同力をあわせ、学校教育目標「溢れる英知 輝く笑顔」の実現に向け全力で取り組みたいと考えております。どうか、よろしく願いいたします。

さて、年末の12月9日（土）に人権教育の一環として、さいたま市出身の落語家 春風亭笑好（しゅんぷうてい しょうこう）さんによる人権落語を実施しました。笑好さんには演目「井戸の茶碗」を通して、

思いやりややさしさの大切さを話していただきました。落語終了後、左のような色紙をいただきました。「不易流行」、あまり聞きなれない言葉ですが、松尾芭蕉が唱えた俳諧理念として伝えられています。不易とは、時代を超えて変わらないもの、流行とは、その時代に応じて変化していくものを意味しています。18世紀初頭、芭蕉の弟子 向井去来によりまとめられた「去来抄」にも、「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」と不易流行の理念が記されています。落語の世界でいえば、古典落語といわれる不易を大切にしながらも、創作落語など新しいものを求めていくことが、発展につながるということでしょうか。さらに芭蕉は、新しいものを求めていく流行こそが、実は不易であり、不易と流行はその根元において結合すべきと言っています。一見矛盾しているようですが、なかなか深みのある理念です。

平成30年は、グローバル化の一層の進展、急激な情報化や技術革新など、変化の激しい激動の時となることが予想されます。このような変革期こそ、不易と流行を見極め、前進していきたいものです。

生徒の皆さんにとって3学期は、まとめの時、とても大切な学期です。3年生は9年間の義務教育の卒業に向け、進路を切り開く時、1、2年生は、一つ上の学年に進級するための総仕上げの時です。私立高校入試の集中日は、1月21日（日）、県公立高校の学力検査は、3月1日（木）、そして卒業式は、3月15日（木）です。また、舘岩自然の教室が1月24日（水）から26日（金）に実施されます。生徒一人ひとりが、具体的な目標をもち、充実した学校生活を送ってくれることを期待したいと思います。

改めて、本年が、保護者、地域の皆様にとって最良の年となりますよう、心からお祈りいたします。



\*講演中の笑好さん